

本リリースはフジプレアム株式会社及びデュポン株式会社の共同リリースです。各社から重複して配信される場合がありますが、何卒ご了承くださいませよう、お願い申し上げます。

(ニュースリリース)

2010年6月28日

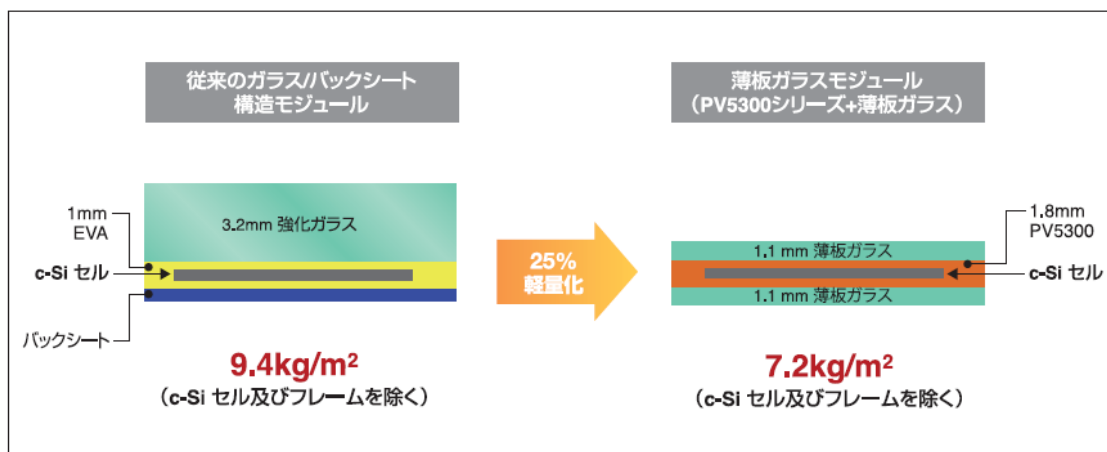
フジプレアムとデュポンが新しい軽量太陽電池パネルを実用化

アイオノマー封止材と超薄板ガラスで、 薄型両面ガラスタイプ結晶系シリコン太陽電池モジュールを実現

フジプレアム株式会社（本社：兵庫県姫路市、代表取締役社長：松本實藏）及びデュポン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：天羽稔）は、従来型の結晶系シリコン太陽電池より約 25%（フレームなしで比較）軽量化した、薄型両面ガラスタイプの新しい結晶系シリコン(c-Si)太陽電池モジュールを開発しました。

この新しい軽量太陽電池モジュールは、本年中にフジプレアムから販売開始予定です。

このモジュールは、従来のガラス（厚み 3.2mm）とバックシート構造の PV モジュールに対し、表面・裏面ともに薄板ガラス（厚さ 1.1 mm）に置き換え、新しく封止材としてデュポン™ PV5300 アイオノマーシートを使用することにより、軽量化を実現しました。そして、これらをフジプレアムのコア技術である精密貼合技術により、デュポン™ PV5300 と薄板ガラスでシリコンセル及び電気回路をラミネートすることに成功、荷重試験及び衝撃試験をクリアする薄型両面ガラスタイプ太陽電池モジュールの実用化に成功しました。



これまでモジュールの軽量化は多くのメーカーで様々な形で検討されてきましたが、いずれも耐候性に課題がありました。このモジュールは、従来型のガラスとバックシート構造をデュポン™ PV5300 と薄板ガラスの組み合わせに替えることで、強度、硬度、耐衝撃性は従来型と同等レベルを維持しながら、耐候性の向上と軽量化が可能となりました。

なお、アイオノマー封止材と薄板ガラスの組み合わせについては、現在、デュポンより特許出願中です。

本リリースはフジプレアム株式会社及びデュポン株式会社の共同リリースです。各社から重複して配信される場合がありますが、何卒ご了承いただきますよう、お願い申し上げます。



薄型両面ガラスタイプ結晶系シリコン太陽電池モジュール

フジプレアム株式会社について

フジプレアム株式会社は独自の精密^{てんごう}貼合技術を基本とした開発力・技術力を生かした研究開発型企業です。創立は1982年、日本に拠点を置いております。現在の主力事業はフラットパネルディスプレイの中核部材である光学フィルターで、世界トップシェアを誇っています。

太陽電池モジュール製造専門メーカーとして、クリーン・エコエネルギー事業にも注力し、産業用から一般住宅用まで幅広いモジュールの提供を行っております。

デュポンについて

デュポンは、科学的な発見や発明を基盤に製品やサービスを提供する企業です。創立は1802年、本社は米国デラウェア州ウィルミントンに置かれています。世界70カ国余りに拠点があり、農業・食品関連、建築・建設、通信、輸送の分野で、革新的な製品やサービスをお届けしています。世界中の人々の生活をより安全で豊かにするために、科学の力を生かした持続可能なソリューションを創出しています。

デュポンTM PV シリーズは拡大成長の一翼を担う、デュポンの太陽電池事業の重要製品です。科学と技術をグローバルにつなぎ、太陽電池産業の劇的な成長を支えています。

【ニュースリリースに関するお問い合わせ】

フジプレアム株式会社

IR・広報部 担当：國枝

[TEL:079-266-6161](tel:079-266-6161)

デュポン株式会社

広報部 担当：岩松

TEL:03-5521-8482